

第14回補助金検討委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成17年5月19日（木） 午後6時00分～午後7時15分

2 開催場所 浦安市役所第3庁舎第2会議室

3 出席者

（委員）

小泉 允 囿 委員長、川口 明 浩 副委員長

渡邊 襄 一 委員、野崎 実 委員、藤岡 順 次 委員

舘 里 枝 委員、仲澤 泰 委員

（事務局）

藤澤 邦 夫 経営企画部長、鹿野 正 廣 経営企画部次長

新宅 秀 樹 財政課長、及川 力 副主幹

渡辺 豊 副主査

4 欠席者

大川 三 敏 委員

5 議 題

（1）補助金検討委員会報告書（最終案）について

6 議事の概要

補助金検討委員会報告書（最終案）をもとに、議論が行われた。

本日の議論をもとに、委員長、副委員長で調製し、「報告書」を市長に提出することとなった。

7 会議経過

補助金検討委員会報告書（最終案）についての議論が行なわれた。

事務局：各委員より提出された修正案及び前回会議での意見をもとに事務局で取りまとめた報告書（案）の修正箇所について事務局より説明を行った。

委員：Ⅱ補助金の考え方についての中の「地方自治法第232条の2に基づき」とあるが、「浦安市補助金等交付規則等に基づき」にした方が良い。

委員：様式の統一の中の「行政以外の分野でも評価が可能となる」とあるが、「市民がみても評価が可能となる」にした方が良い。

委員：支出方法の変更のところが、意味が伝わらないのではないか。

委員：①状況の変化等により廃止を検討すべきものの例として、アの医療廃棄物補助金を取り上げているが、一つで良いのか？また、イの食糧費については、医療廃棄物と同列ではないので、②として項目だてした方が良い。

委員：補助行政のP（プラン）・D（ドゥ）・C（チェック）・A（アクション）をP（計画）・D（実施）・C（検証）・A（見直し）に変えた方が良い。

委員：Ⅲ補助金交付の現状の中の例だが、かなりインパクトが強い。例えばの例でも悪い例として誤解されないか？

⇒例示の後に「等」を入れる。

委員：(8) 団体の説明責任についてのタイトルに団体の一般市民に対する説明責任についても入れるべきである。

委員：終わりにの中に、第三者機関によるチェックは入れなくて良いのか。

⇒基本的には、この提言を受けて、市でモニタリングの強化を図るが、場合によってはという意味で、第三者機関によるチェックを入れる。

本日の議論をもとに、委員長、副委員長で提言書を取りまとめる。ついては、追加の意見があれば、事務局に連絡することした。

取りまとめた報告書を、近日中に市長に提出する。